

新型コロナウイルス感染症の 感染状況について ～お盆やレジャーシーズンを 楽しく過ごすために～

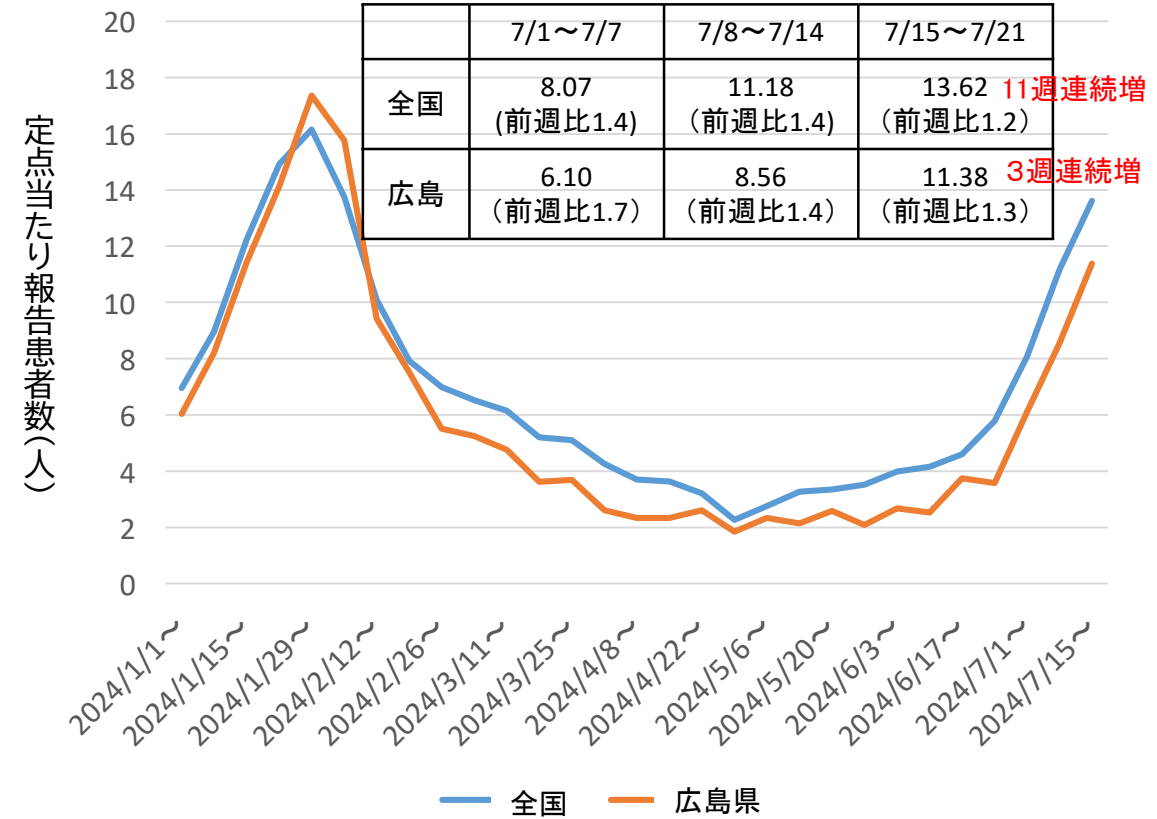
令和6年7月30日

本日の会見

- ✓ 新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は、定点把握で全国的に増加傾向が継続
- ✓ 本県でも、新規感染者数、入院者数が昨年夏と同じスピードで増加
- ✓ 昨年夏は8～9月にピークを迎えており、今後、昨年夏を超えて感染拡大が継続した場合、医療への負荷が更に増大



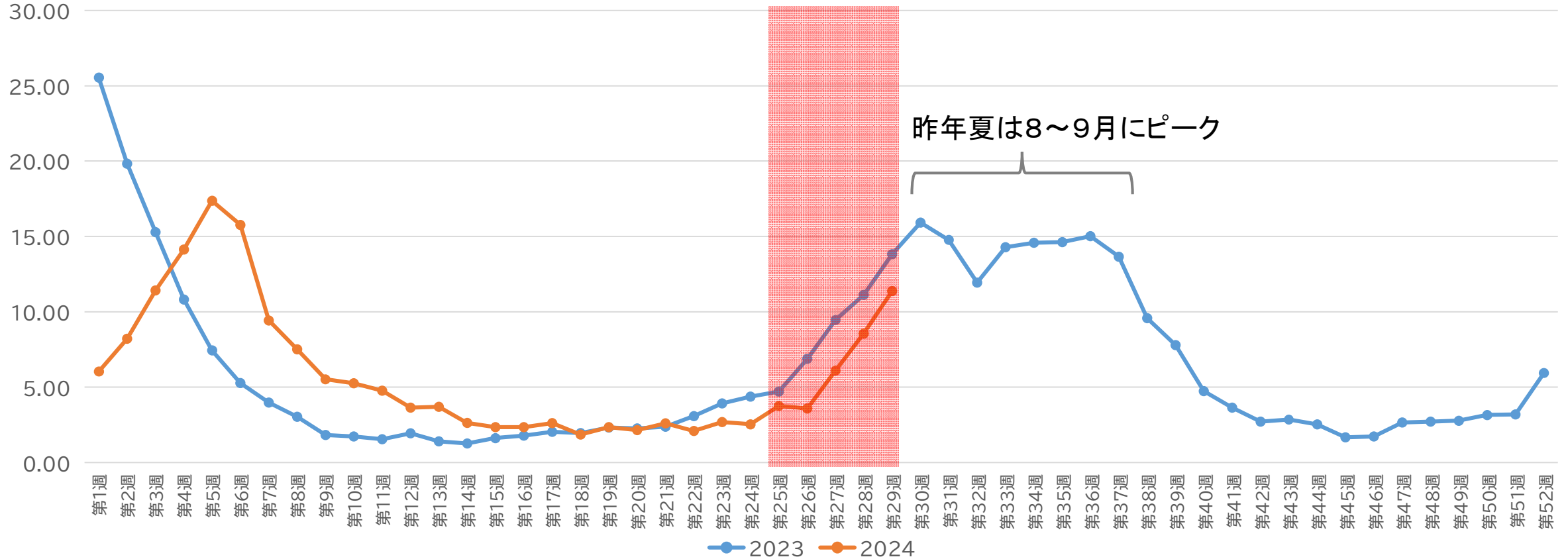
感染者発生状況(定点・週次)



現時点で医療がひっ迫している状況では無いですが、お盆やレジャーシーズンを楽しく過ごすためにも、いま必要な対策を

本県の感染状況(新規感染者数)

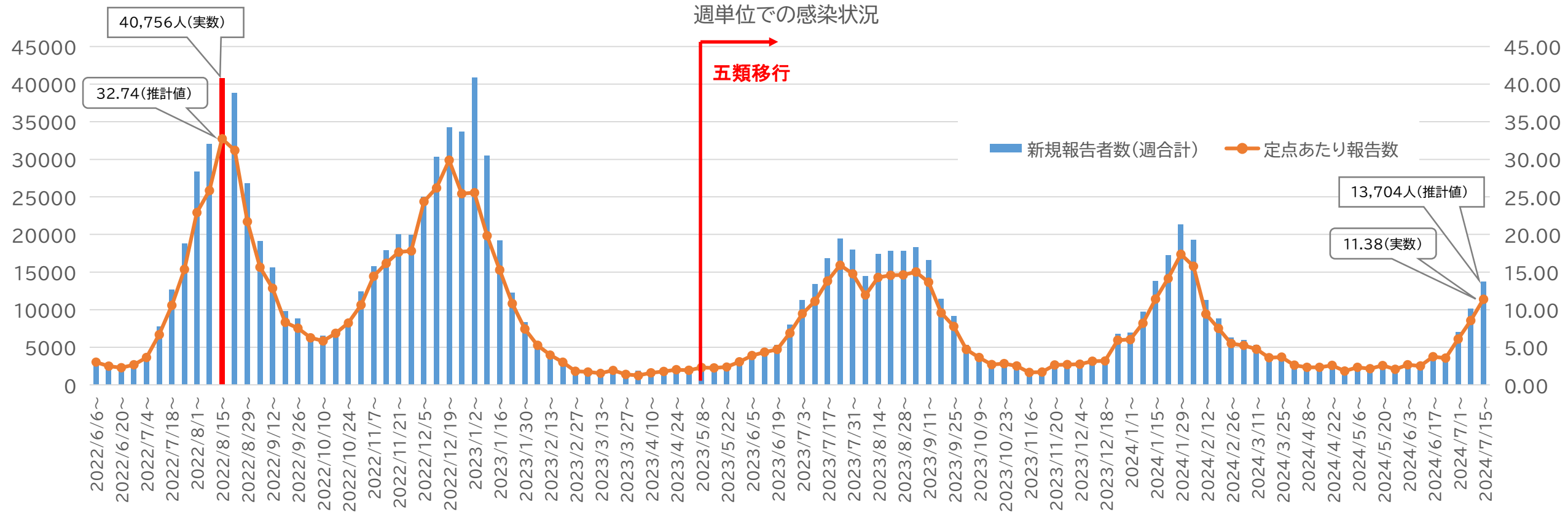
週単位での感染状況



※2023年第18週までのデータについては、定点サーベイランスを行っていた場合に想定される報告数を掲載している。なお、定点医療機関数は110で計算している。

新規感染者数は、昨年夏とほぼ同じスピードで増加

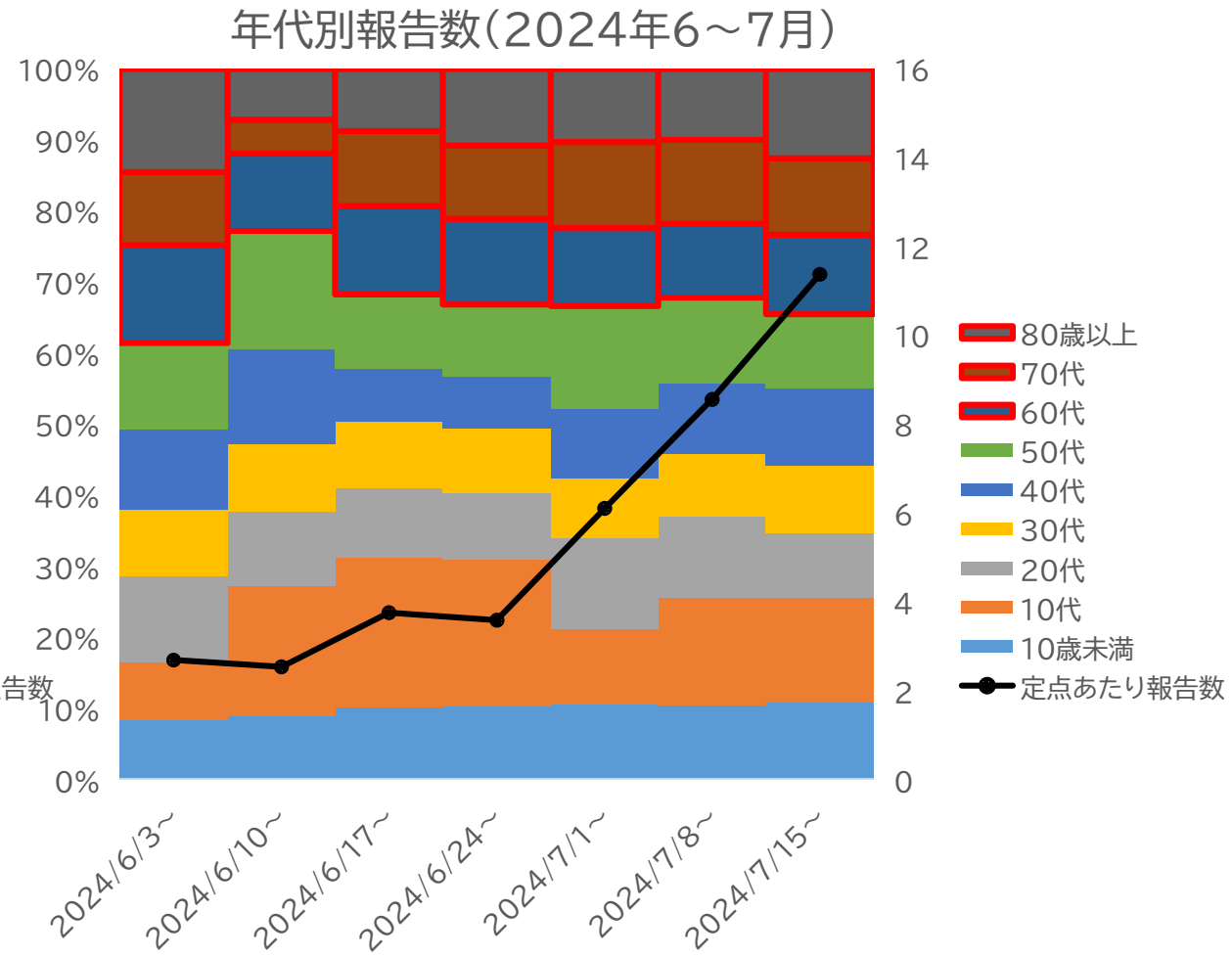
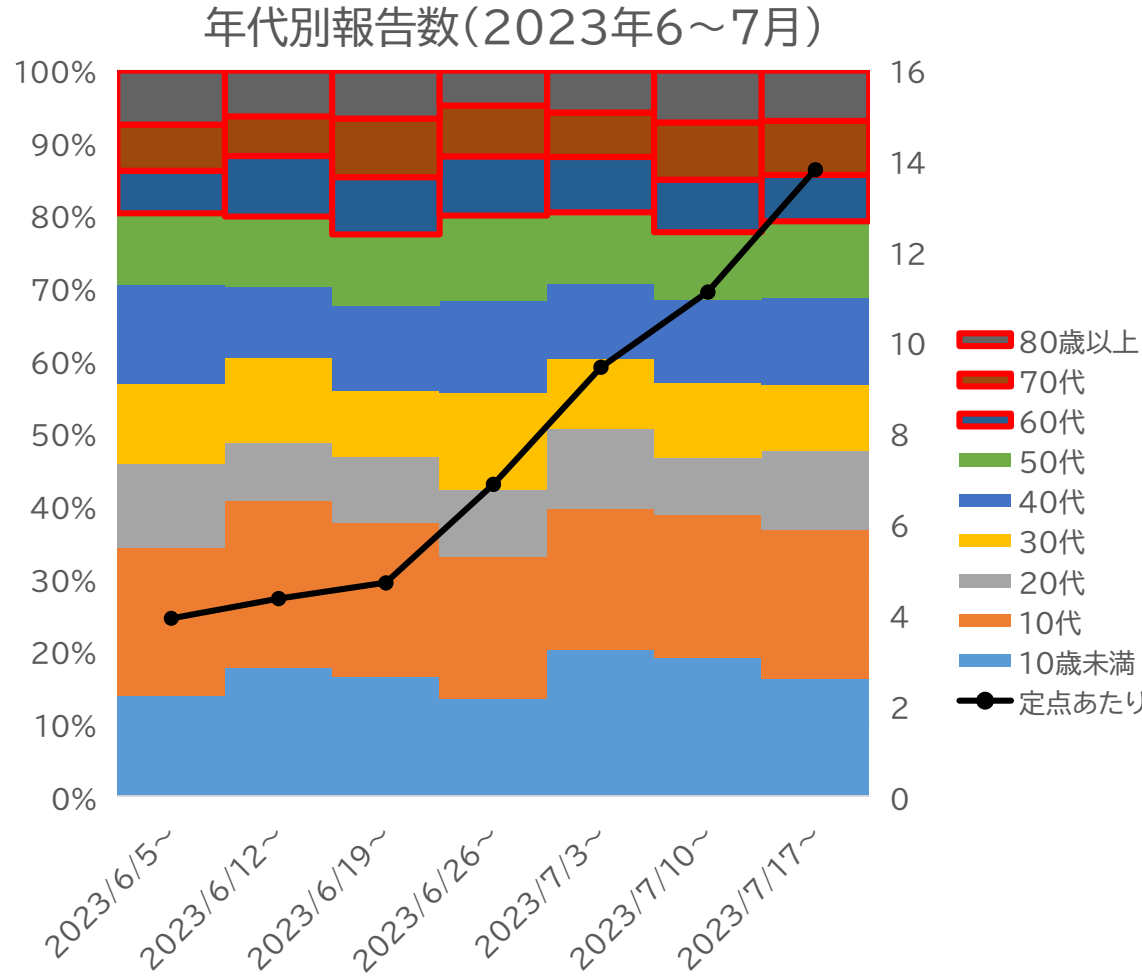
本県の感染状況(過去の感染状況との比較)



※2023/05/08以降の新規報告者数のデータについては、全数把握を行っていた場合に想定される報告数を推計し、掲載している。
 ※2023/05/08までのデータについては、定点サーベイランスを行っていた場合に想定される報告数を推計し、掲載している。

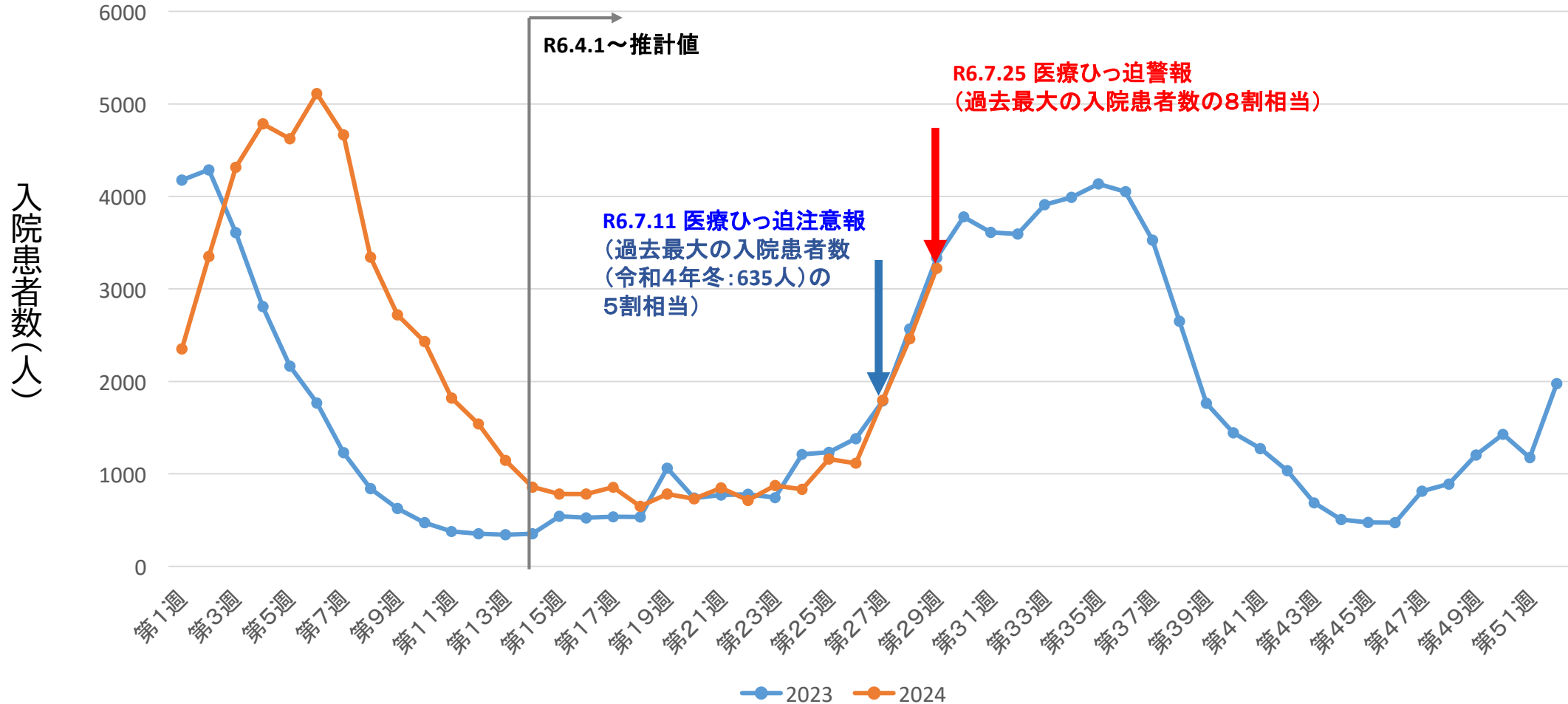
五類移行前の一昨年の夏は定点当たり32.74(推計値)まで感染が拡大しており、今後、同様に感染が拡大しないよう、警戒が必要

本県の感染状況(年代別)



昨年夏と比較し、60代以上の割合が増加傾向

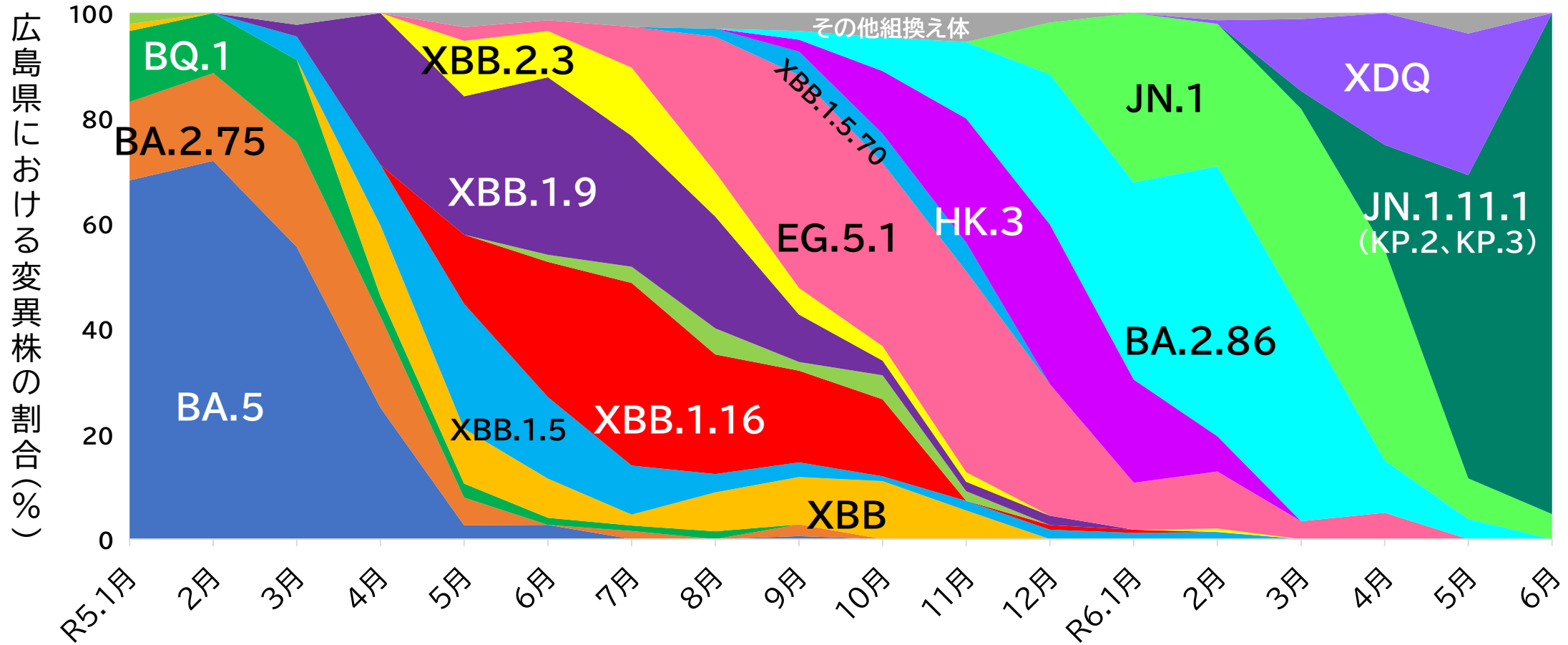
本県の入院状況



※～2024/3/31までのデータについては、G-MIS報告による入院患者数。2024/4/1以降のデータは定点当たり報告患者数より推計。

入院者数も、昨年夏とほぼ同じスピードで増加(直ちにひっ迫する状況ではない)
しかし、今後、昨年夏を超えて感染拡大が継続する場合、医療への負荷が更に増大

本県の変異株の状況



現在、KP.3系統が主流(令和6年6月検体採取分の90.5%)

県の対応

関係機関へ協力依頼

- 医療機関に対して、地域の役割分担に応じた外来・入院患者受入れの準備
- 薬局に対して、治療薬等の提供体制の確保
- 高齢者施設・障害者施設に対して、医療機関との連携や療養体制の確保

県民の皆様へのお願い ～お盆やレジャーシーズンを楽しく過ごすために～

基本的な感染対策(換気やマスクの着用は熱中症予防との両立を)

- ① 手洗いや適度な換気
- ② 体調不良時は必ず休養
- ③ 医療機関や高齢者施設ではマスク着用
- ④ 帰省等で高齢の方と会う場合や大人数で集まる場合は、
感染予防を心がけ体調を管理

救急車を呼ぶか迷ったときは#7119

(24時間365日、庄原市と大崎上島町はかかりつけ医へ相談)

夜間にこどもの急病で判断に迷ったときは#8000

((平日)19時～翌朝8時(土日祝)17時～翌朝8時)

県民の皆様へのお願い ～お盆やレジャーシーズンを楽しく過ごすために～

制限のなかった昨年夏の感染拡大は、皆様の御協力により、乗り切ることができました。

この夏も、お盆やレジャーシーズンを楽しく過ごすためにも、お一人おひとりが、今、できる対策をお願いします。